

JASDAQ

証券コード：4970

URL <http://www.toyogosei.co.jp/>



◎ TOYO GOSEI

第62期 中間報告書

(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

◎ 東洋合成工業株式会社

# Message to Our Stakeholders

株主の皆様へ

## ■ ご挨拶

株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。第62期中間報告書をお届けするにあたり、ご挨拶申し上げます。

このたびの東日本大震災により被災された皆様に、謹んでお見舞い申し上げ、一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

足元の経済情勢を概観しますと、米国での失業率の高止まりや欧州における財政危機の深刻化が進行し、景気回復の牽引役であった中国においても景気過熱抑制の動きが見られるなど厳しい情勢が続いております。また、国内におきましても電力供給不安の長期化や歴史的な円高が続くなど、リーマンショックから回復基調にあった事業環境は逆風を受けております。

そのような外部環境のなか、当社グループといたしましては、持続的な成長の実現に向け千葉県東庄町および兵庫県淡路市への新工場建設計画を進めております。目下、千葉県東庄町へ建設中の香料工場は来年春の完成を予定しており、新興国需要の取り込みおよび安定供給の継続を図ってまいります。また、兵庫県淡路市へ建設予定の淡路工場は、プレート型地震の東海・東南海・南海地震の同時発生が予測され始めましたので、津波対策強化防潮堤の設置を計画し、用地造成工事の着手が遅れております。

当期の中間配当につきましては、円高の継続が見込まれ、また南欧諸国に端を発する金融不安の影響が想定以上となる可能性も否定できないこと等を総合的に勘案し、誠に遺憾ではございますが1株当たり当初の予想から2円減配し、3円とさせていただきます。当社グループといたしましては、現在、計画しております新規事業への投資の成果として収益向上を実現し、株主の皆様へ還元できるように取り組んでまいりますので、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## ■ 当第2四半期（累計）の連結経営成績

（平成23年4月1日～平成23年9月30日）

当第2四半期（累計）は、新規製品の開発や既存製品の拡販に取り組みましたが、景気後退や円高の継続などの影響が大きく、売上高は7,161百万円（前年同期比△372百万円、△4.9%）となりました。

損益面では、経費削減や原価低減活動等の全社的なコスト対策を継続したものの、売上高の減少および新工場立ち上げに向けた人件費の増加等により、営業利益は371百万円（前年同期比△341百万円、△47.9%）、経常利益は271百万円（前年同期比△303百万円、△52.8%）、四半期純利益は255百万円（前年同期比△261百万円、△50.6%）となりました。

## ■ 通期連結業績見通し

（単位：百万円）	通期の見通し
売上高	15,000
営業利益	630
経常利益	470
当期純利益	430

経済情勢につきましては、上述いたしました通り、海外・国外とも先行き不透明感が強まっており、今後予断を許さない情勢が続くものと予想されます。

このような見通しの下、当社グループは厳しい経営環境においても収益を生み出す事業体質の定着化を目指し、下記の施策を重点的に取り組んでまいります。

- ①本社・営業部門の機能集約の成果として、意思決定スピードを速め、事業戦略の立案・展開を強化する。
- ②営業・研究部門の連携を強め、お客様との関係を強化し、拡販に努めるとともに、新たな需要を開拓する。
- ③生産性の更なる向上とコスト低減活動を推進し、競争力を高める。

当社グループの更なる成長に向け、研究開発のスピードアップおよび収益体質の強化を促進し、全社を挙げて国際競争を勝ち抜き事業基盤づくりを進めてまいります。

今後も株主の皆様のご期待に応えるべく一層の業績向上に努めてまいりますので、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成23年12月



代表取締役社長

木村正輝

## 大規模投資計画と事業リスク対策

需要拡大への対応および各種リスクに備え、新工場建設にあたり工場立地地域の分散化を実施いたします。また、電力供給不安への対策として、自家発電機を千葉工場および市川工場に設置いたしましたのでお知らせいたします。

### ▶ 千葉県東庄町での香料工場建設計画について（香料材料事業）

**目的** 新興国を中心とした香料市場の需要増加の取り込みおよび、お客様への継続的な安定供給を図る。

**敷地面積** 約25,000平方メートル

**所在地** 千葉県香取郡東庄町宮野台



### ▶ 淡路工場建設計画について（グリーンケミカル事業）

**目的** 工場立地リスクの分散と電子・電池材料市場での需要の取り込み、および急速な成長が見込まれる関西市場での戦略的な生産拠点として位置付け、更なる事業の発展を目指します。現在、用地造成工事の着工に向けた手続きを進めております。

**敷地面積** 約50,500平方メートル

**所在地** 兵庫県淡路市生穂新島



### ▶ 電力需要対策

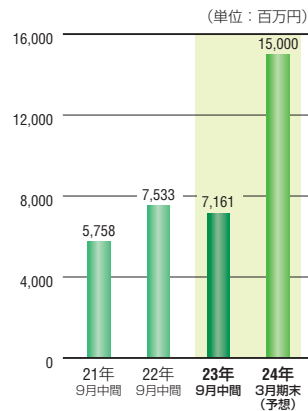
**目的** 長期化が見込まれる電力供給不安への対策として、千葉工場および市川工場内に自家発電機を設置いたしました。今後もお客様への安定供給に努めてまいります。



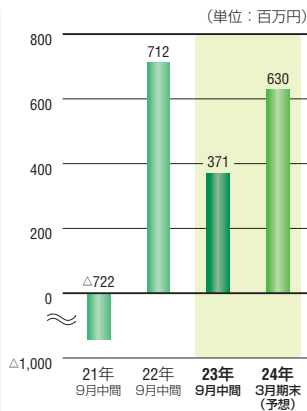
# Financial Highlight

## 財務ハイライト

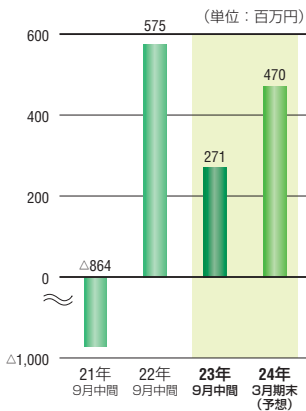
売上高



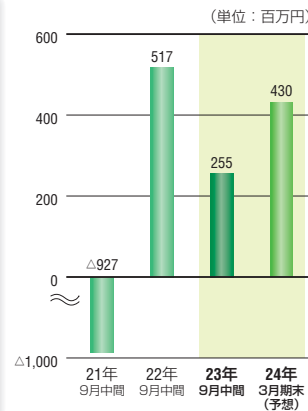
営業利益



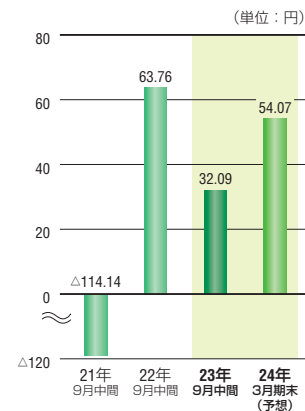
経常利益



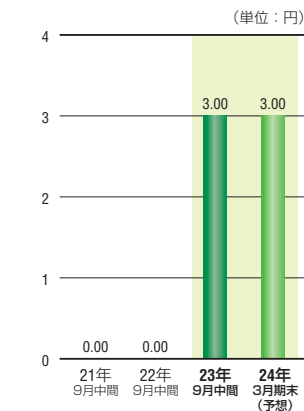
四半期(当期)純利益



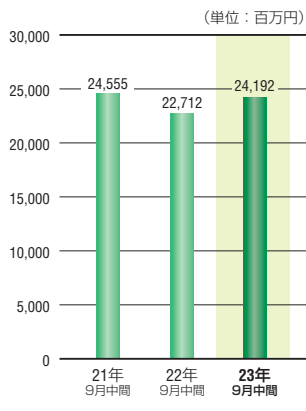
1株当たり四半期(当期)純利益



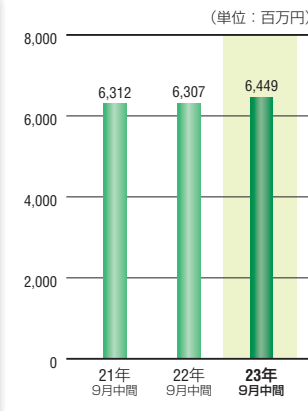
1株当たり配当金



総資産



純資産



※当社は、株式会社トランスパレント社を今後の有力な成長分野と見込み、平成22年3月期より、同社を当社連結対象といたしました。

## 貸借対照表ハイライト（連結）

（千円未満切捨表示）

	前第2四半期末 平成22年9月30日	当第2四半期末 平成23年9月30日
流動資産	8,119,705	8,583,427
固定資産	14,593,144	15,609,339
<b>資産合計</b>	<b>22,712,850</b>	<b>24,192,767</b>
流動負債	9,692,141	11,370,428
固定負債	6,713,563	6,372,745
<b>負債合計</b>	<b>16,405,705</b>	<b>17,743,173</b>
純資産	6,307,145	6,449,593
<b>総資産</b>	<b>22,712,850</b>	<b>24,192,767</b>

## 収益性指標ハイライト（四半期連結累計期間）

（千円未満切捨表示）

	前第2四半期 連結累計期間 平成22年4月1日から 平成22年9月30日まで	当第2四半期 連結累計期間 平成23年4月1日から 平成23年9月30日まで
売上高	7,533,847	7,161,200
営業利益	712,677	371,013
経常利益	575,498	271,561
四半期純利益	517,013	255,177
フリーキャッシュ・フロー	1,030,323	△367,969

## 事業部実績

【感光性材料事業】売上高：3,540百万円（前年同期比△392百万円、△9.9%）

半導体用途向け感光性材料は、スマートフォンなどの多機能携帯端末を始めとした電子機器の需要拡大が継続し、好調に推移いたしました。一方、液晶用途向け感光性材料は、欧米を中心とした液晶テレビの需要減速に伴うパネルメーカーの稼働率低下を受け、低調に推移いたしました。電解液・イオン液体は、引き続き精力的な需要開拓を進めております。

【化成品事業】売上高：3,620百万円（前年同期比+19百万円、+0.5%）

香料材料部門は、新興国を中心に需要は底堅いものの、当社生産設備能力が限界に達しつつあり、売上・利益とも伸び悩みました。また、グリーンケミカル部門は、高付加価値品と溶剤リサイクルを中心に市場開拓を進め、主に電子材料用途の需要取り込みにより売上高は堅調に推移したものの、第1四半期の原油高の影響および生産設備の定期修繕工事に伴う稼働率低下が利益を押し下げる結果となりました。ロジスティック部門は、顧客満足度の維持・向上に努めた結果、高水準のタンク契約率と堅調な荷動き量を確認し、売上・利益とも横ばいで推移いたしました。





### 感光材事業 スマートフォン、携帯電話や液晶テレビに使われる半導体の製造を支えています

感光材は、液晶テレビや半導体の製造工程で使用される微細構造を形成する材料であるフォトレジストの原材料になります（フォトレジストは、感光材と溶剤等から作られます）。当社の感光材は高性能かつ高品質の製品として高い評価をいただいております、世界トップクラスのメーカーとして高いシェアを有しています。また、次世代型の感光材の研究開発にも積極的に取り組んでおります。

所在地：千葉工場（千葉県香取郡東庄町）



### エネルギー事業 燃費の向上やCO<sub>2</sub>削減に寄与する未来の液体

近年の省エネルギー化の推進を背景に建機、港湾クレーン、風力発電機の補助電源として電気二重層キャパシタの搭載が進んでおります。当社では、この電気二重層キャパシタ用の電解液およびイオン液体の製造販売を行っています。イオン液体の使用は多くの分野で研究されており、環境負荷の少ないグリーンケミストリー用反応溶媒や安全で高性能な次世代電解質としての活用が望まれています。また、フォトレジスト用現像液TMAHの製造販売も行っています。

所在地：千葉工場（千葉県香取郡東庄町）



### 香料材料事業 世界に広がる香りをつくる

食品（フレーバー）や化粧品（フレグランス）製品の単品香料を作っているのが、香料材料事業部です。食品や化粧品の香りは、何十種類もの単品香料を香料会社で調合し、1つの香りが作られます。当社ではその香りの素となる単品香料を世界各国の大手香料会社に販売しています。当社の単品香料は、香料として一番重要な“匂い”の安定を特徴としており、国内外に幅広く販売しています。

所在地：市川工場（千葉県市川市上妙宮）



### グリーンケミカル事業 地球温暖化、大気・水質汚染問題解決に貢献

有機溶剤は、電子・電気部品・自動車、製薬等の広範囲な分野で使われており、使用後の廃溶剤の多くは再利用されることなく大気への放出または、燃焼処理が行われていました。当社では、ユーザーで使用された廃溶剤を引き取り、蒸留・精製を行うことで新品同様に蘇らせています。当社は特に高度な蒸留・精製技術が求められる半導体などの電子部品材料用溶剤のリサイクルで高い実績を誇っています。

所在地：市川工場（千葉県市川市上妙宮）



### ロジスティック事業 月間200隻の船舶と3,000台のローリーに対応

高浜油槽所において、大手石油化学メーカーや商社の液体化学品を船で受け入れ、一時保管し、タンクローリーで関東各地のユーザー様へ配送を行っています。受け入れ船舶は月間200隻、ローリーでは3,000台の出荷に対応できます。また、化学メーカーとして長年培ってきた化学品の取り扱い、管理、分析の技術と最新の設備により、安全かつ環境にも配慮した万全の物流体制を備えています。

所在地：高浜油槽所（千葉県市川市高浜町）



### 新規事業開発 ナノテク分野、バイオ分野の研究開発

ナノテク分野では、UVナノインプリント専用の樹脂を世界で初めて発売しました。ナノインプリントは、他の微細加工技術では困難な大面積加工が可能のため、次世代型加工技術として注目されています。

バイオ分野では、新薬開発における探索研究や前臨床試験を支援する製品「Cell-able（セルエイブル）」のプレートを製造しています。今後、Cell-ableはがん領域での利用を目指しており、抗がん薬の研究開発や一人一人に最適な抗がん薬選択の場面で大いに期待されています。

所在地：感光材研究所（千葉県印西市若萩）

# Stock Information

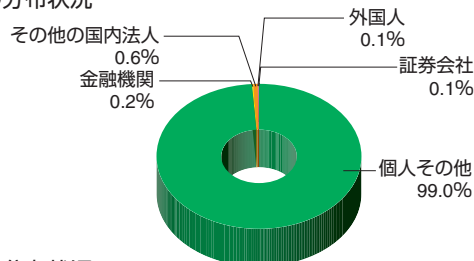
株式の状況 (平成23年9月30日現在)

■ 発行可能株式総数	30,000,000株
■ 発行済株式総数	8,143,390株
■ 株主数	9,644名
■ 大株主	

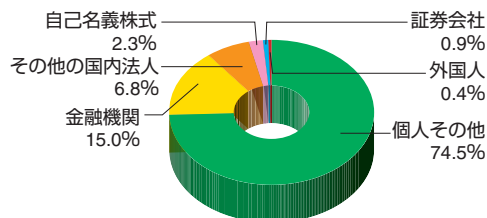
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
木村正輝	1,637	20.59
木村有仁	394	4.96
木村愛理	383	4.82
(株)千葉銀行	298	3.75
(株)東京都民銀行	298	3.75
あいおいニッセイ同和損害保険株	248	3.12
(学)早稲田大学	200	2.51
東洋合成工業社員持株会	173	2.18
片岡文子	163	2.06
木村泰成	130	1.63

(注) 当社は、自己株式を190千株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。  
また、持株比率は自己株式(190千株)を控除して計算しております。

## ■ 株主の分布状況



## ■ 株式の分布状況



# Homepage Information

ホームページのご紹介



当社は、事業運営状況や投資家向けの情報公開をするにあたり、Webを主要な手段の1つだと考えております。当社Webサイトでは、最新情報を随時更新しておりますので、是非ご覧ください。



各事業内容を紹介した動画を新たに作成・掲載しました。

<http://www.toyogosei.co.jp/>

# Corporate Profile

## 会社の概要 (平成23年9月30日現在)

■ 商号	東洋合成工業株式会社
■ 本店所在地	千葉県市川市上妙典1603番地
■ 本社	東京都中央区日本橋一丁目13番1号
(本社および営業部門)	日鐵日本橋ビル4F
■ 設立	昭和29年9月27日
■ 資本金	1,618,888,703円
■ 従業員数	391名
■ 事業内容	1. 有機工業薬品・有機溶剤等の製造並びに販売 2. 画像形成用の感光性材料等の製造並びに販売 3. 電子表示機器の材料等の開発、製造並びに販売 4. 電池材料並びに電気二重層材料等の研究開発、製造並びに販売 5. 酵素蛋白、細胞を特定形状化するための感光性樹脂の研究開発、応用品の製造並びに販売 6. 化学機械・装置（反応用機器、蒸留塔、抽出器、濾過器、乾燥機等）の設計、製作並びに設置工事 7. 前各号に掲げる物品の輸出および輸入 8. 倉庫業 9. 貨物運送取扱業 10. 前各号に付帯関連する一切の事業
■ 事業所	千葉工場 千葉県香取郡東庄町宮野台1番51号 市川工場 千葉県市川市上妙典1603番地 高浜油槽所 千葉県市川市高浜町7番地 感光材研究所 千葉県印西市若萩四丁目2番1号
■ 関係会社	株式会社トランスバレント TG Finetech Inc.

■ 役員	
代表取締役社長	木村 正輝
専務取締役	川村 繁夫
常務取締役	木村 有仁
取締役	菊地 英夫
	渡辺 宏一
	出来 彰一
上席執行役員	坪田 順一
執行役員	萩原 勇一
	佐藤 一
	多田 健太郎
	島川 優
	伊藤 衛
監査役	萩原 正一
	鳥井 勉
	宮崎 誠

## 株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日
定時株主総会	毎年6月下旬
剰余金の配当の基準日	3月31日 中間配当を実施するときは9月30日
定時株主総会基準日	毎年3月31日 ※その他必要がある場合は、予め公告いたします。
単元株式数	100株
公告方法	電子公告により行います。 公告掲載URL <a href="http://www.toyogosei.co.jp/ir/koukoku.html">http://www.toyogosei.co.jp/ir/koukoku.html</a> ただし、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載する方法により行います。
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
株式の諸手続き	口座を開設されている証券会社までお問い合わせください。 特別口座をご利用の株主様は、みずほ信託銀行株式会社0120-288-324（フリーダイヤル）までお問い合わせください。

## 東洋合成工業株式会社

〒103-0027 東京都中央区日本橋一丁目13番1号 日鐵日本橋ビル4F  
TEL03-3548-4970 FAX03-3548-4961  
E-mail : ir@toyogosei.co.jp

